

嚥下通信 vol.1

摂食嚥下研究会とは

摂食嚥下（食べる・飲み込むこと）について各専門職の知識・技術を高め、当院の摂食嚥下障害に対しての課題の抽出・分析・対策を講じる多職種チームです。摂食嚥下研究会では、2ヶ月に1回食事や飲み込みに関してテーマを決め、嚥下通信を発行します。ご覧ください。

構成メンバー

医療事務職員

摂食嚥下に関する診療報酬や情報の集積・分析を行います。

管理栄養士

飲み込みの状態に合った食事の提供、栄養状態や水分量の管理・指導をします。

理学療法士 (PT)

全身を鍛え、食べやすい姿勢や呼吸機能を整えます。

看護師 (Ns)

全身状態の管理、排痰の実施、退院支援をします。

作業療法士 (OT)

食事動作の改善、適切な食器や自具（スプーンや介助箸）の選定をします。

言語聴覚士 (ST)

飲み込みの評価や訓練、食事介助の指導をします。

診療放射線技師

医師とレントゲンや内視鏡などの器機を用いて、飲み込みの検査を行います。

歯科衛生士

口の中の状態（衛生・歯）を確認して歯科医師と治療や口腔ケアを行います。

医師 (歯科医)

飲み込みの検査や訓練・口腔ケアの指導、歯の治療、義歯の作成等を行います。

嚥下通信のテーマ (予定)

- 2018年 11月 食事と姿勢の関係
- 2019年 1月 食べる動作について
- 3月 飲み込みやすい食事とは
- 5月 歯と咀嚼について
- 7月 口腔ケアについて

お問い合わせ

通信の内容についてのご質問や「詳しく知りたい」「〇〇について教えて欲しい」といったご意見がありましたらお声かけ下さい！

お問合せ先：兼八・森下（言語聴覚科）

発行：森下、北川（摂食嚥下研究会）